

新中間処理施設整備基本構想（原案）住民説明会の開催概要

1. 目的

十勝管内19市町村のごみの共同処理に係る新中間処理施設整備基本構想（案）の策定にあたり、新施設で共同処理を予定している市町村の住民の方々を対象に直接基本的な考え方を説明し、施設整備への理解を深めていただくことを目的として住民説明会を開催いたしました。

2. 開催日時・会場・参加者数

開催日	時間	会場	参加者数
令和2年12月7日(月)	19:00～	足寄町民センター	14名
令和2年12月12日(土)	19:00～	幕別町民会館	24名
令和2年12月13日(日)	14:00～	上士幌町生涯学習センターわか	28名
令和2年12月13日(日)	19:00～	鹿追町民ホール	17名
令和2年12月15日(火)	19:00～	とちかちプラザ	32名
令和2年12月17日(木)	14:00～	豊頃町える夢館	5名
令和2年12月18日(金)	14:00～	広尾町コミュニティセンター	11名
令和2年12月19日(土)	14:00～	芽室町中央公民館	22名
令和2年12月20日(日)	14:00～	共栄コミュニティセンター	18名
令和2年12月20日(日)	19:00～	更別村社会福祉センター	6名
合計			177名

3. 住民説明会におけるご意見等の要旨

住民説明会でいただいた主なご意見等について、その要旨を基本構想（原案）の章ごとにまとめました。

【第1章 新中間処理施設整備基本構想策定の趣旨】

項目	住民からのご意見等	
1. 意見の反映等について	①	昨年度の住民説明会やパブリックコメントの意見は基本構想に反映されているのか。
	②	昨年度の説明会やパブリックコメントの意見を受けて、この1年間どのような活動を行ってきたのか。
2. 施設の分散について	①	他都市の事例では防災対策、災害のリスク回避から施設を分散している事例があったが、なぜ、参考としなかったのか。
	②	19市町村のごみを帯広市1カ所に集約することのだが、集約して大きくし、町村からの距離を遠くすることがいいことだと思わない。市町村ごとか、方面ごとに整備した方が良いと思う。
3. その他	①	基本構想の内容については、専門用語などもあることから、もっと詳しく説明してほしい。

【第2章 ごみ処理の基本条件の設定】

項目	住民からのご意見等	
1. 処理量の削減について	①	施設規模が290tということだが、ごみの減量化などの取り組みはどうなっているのか。290tより少なくできないのか。
	②	富良野市では生ごみ等の資源化を図ることで、全体のごみの1割しか焼却していない。家庭から出るごみの50%が生ごみと言われている中、生ごみを堆肥化することにより焼却施設をもっと小さくできるのではないか。
	③	約83,500tのごみを焼却するとのことだが、ごみ全体量の何%を想定しているのか。富良野市では10%のごみしか焼却していない。
2. 推計方法について	①	ごみ排出量は令和9年をピークとし、推計の方法は過去5年間の平均から算出したと聞いているが、過大な施設となるのではないか。
	②	可燃物とは具体的にどのようなものか。
	③	人口減少が続く中、290tの施設規模は将来的に余力が出てくると思う。循環型社会形成の中、将来の子どもたちの負担が少なく、安心して暮らしていくためには、焼却炉の大きさ290tは妥当なのか。

【第3章 ごみ処理方式の選定】

項目	住民からのご意見等	
1. 焼却処理について	①	ごみの処理は行政が行うことではなく、ごみを出さないような仕組みが必要である。破碎処理後の焼却も、埋立も必要なく、燃やさないことが大事である。
	②	国は2050年までに温室効果ガスの発生をゼロにするとしており、ごみを焼却し、温室効果ガスを排出するような施設にしないほしい。
	③	サーマルリサイクルによってCO2削減効果があるという考えは、どんどん燃やしていいという考えにつながると思うが、燃やすことでCO2は発生する。課題があるのは理解するが、ごみを燃やすべきではない。再度、検討してほしい。
	④	事業方式については、国のPFIの推進に基づくとのことだが、国の方針に基づくことに関して不信感がある。国の方針に基づくこと、今後、廃プラまで燃やすことになるのではないか。
	⑤	G20の国で地球全体の70%の温室効果ガスを排出している。環境問題について、今回の施設整備に関しては住民の意識を変えるきっかけにしてほしい。町村任せではなく、組合が中核になってほしい。
2. リニューアル方式について	①	現施設のリニューアルは無理なのか。伊東市などのように現施設の敷地に一部増設する事例については参考にしないのか。
	②	基本構想の見直しを行い、前回と比べ住民の負担はどのようになったのか。予算については触れられていないと思うが、もし高ければ現在の施設をリニューアルして使うことができないのか。
	③	現施設の管理棟や煙突は再利用できないのか。
3. 処理方式の変更について	①	ごみ処理方式のストーカ式は変更となっていないが、嵩上げなどの浸水対策は計算していないのか。
	②	災害ごみの焼却にも実績がある縦型のバーチカル炉については、検討しないのか。

【第4章 ごみ処理システム】

項目	住民からのご意見等	
1. ごみの資源化について	①	紙おむつはリサイクルするのか。
	②	今回の施設整備は、十勝バイオマス都市構想の方向性と違っているのではないか。
	③	国が目指す脱炭素社会を踏まえると、ごみを燃やすのは、時代と逆行しているのではないか。
	④	組合としての役割、業務内容はどのようになっているのか。組合としてのごみの資源化・減量化の目標は、また、取り組みは行わないのか。
	⑤	基本構想にごみゼロ検討委員会など情報共有を図ることのより、減量化・資源化を取り組むとのことだが、実際に減量化が進むのか疑問である。
	⑥	ごみの資源化・減量化について、ごみゼロ検討委員会についての説明があったが、組合と市町村の役割はどのようになっているのか。
	⑦	国も2030年までのSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを進めているが、世界の焼却炉の2/3が日本にある。また、環境モデル都市や十勝バイオマス産業都市の指定を受けている中で、今後、ごみは燃やさない、資源にするとといった考えはないのか。
	⑧	ごみは資源化して再利用して欲しい。サーマルリサイクルはリサイクルではない。
	⑨	SDGsの目標12に「つくる責任 つかう責任」とあるが、ごみは分ければ資源になる。分別によるリサイクル、ごみの減量化・資源化については情報の共有を図るとしているが、具体的にどの程度の減量化を図ろうと検討しているのか。
2. エネルギー利用について	①	環境モデル都市や十勝バイオマス産業都市の指定を受けている中で、循環型社会の形成のため、基本構想において生ごみの資源化やエネルギー利用について検討しているのか。
3. 環境教育について	①	地球温暖化が進む中、焼却施設は造るべきではなく、環境教育の充実を図ってごみを出さないようにするのが私たちの努めだと思う。
4. 中継施設について	①	現在は南十勝環境衛生センターへごみを搬出しているが、新施設ができれば帯広市へ運ぶことになると思う。今までどおり衛生センターへ搬出し、まとめて新施設に搬出することはできないのか。
5. その他	①	大型・不燃ごみの処理施設はどのように設置するのか。焼却施設と同じ建屋の中に設置するのか。

【第5章 建設候補地及び施設配置】

項目	住民からのご意見等	
1. 浸水想定について	①	建設候補地について、他の町村からの提案がなかったと思うが、中島地区のカ6 所以外に、浸水しない他の候補地はなかったのか。
	②	基本構想の候補地は浸水深が深い。現施設の周辺の帯広市の土地は候補地として検討しなかったのか。
	③	水害について専門家の意見を聞いたようだが、それだけで良いのか
	④	防災については、専門家を入れて検討すべきで、北大の教授に話を聞いただけではだめだと思う。
	⑤	浸水はどれくらい続くのか、処理できない場合の代替施設が必要なのではないか。
	⑥	9月26日の報告書で北海道開発局が安全だと言ったとあるが、北海道開発局に確認したがそのようなことは言っておらず、データを貸しただけと言っていた。
	⑦	浸水対策について、調査を行っているが、関係する資格を有する職員はいるのか。
	⑧	北大の先生は専門家なのか。北大の先生への聞き取りの復命書だけではなく、レポートなどが必要ではないのか。
	⑨	十勝川だけではなく、周辺の然別川などの影響はないのか。
	⑩	中島地区には70年以上住んでおり、候補地については、これまでも災害により浸水したことはあるが、水はすぐ引いていた。候補地Aは十勝川の旧河川であったと思う。一方、候補地Cについては災害時に候補地C内の赤い部分に浸水はあったがそれ以外に浸水はなかったことを考えると候補地Cが建設候補地に適していると思う。
	⑪	地球温暖化が進む中、年々災害が増えてきているように感じており、災害が起きた時にはフルパワーで処理する必要があることから、施設についてはしっかりとした対策が必要だと思う。併せて道や国に堤防や水を抜くための樋門の管理などの要請をお願いしたい。
	⑫	ごみ処理施設は止まらない様にならない。新聞記事でも治水についての記載があったが、お金がかかることは仕方ないことで、しっかりとした施設を建設してほしい。また、浸水の状況についても説明してほしい。
	⑬	複数の川が集まっている地域で、近隣の山には保水力はないと思うが、林野庁など関連した国の機関に確認したのか。十勝川の堤防についてカーテングラウチングなどの強靱化は行わないのか。
	⑭	市から候補地C～Fを提案されたというが、ハザードマップの浸水深5m以上が考慮されていない。
	⑮	4～5年前、足寄の利別川の水位が上がったことがある。今後30年間施設を使うにあたって、周辺には然別川やシブサラビバウシ川もあり、川の水位が上がって更に浸水することはないのか。十勝川の水位が上がると想定されるが、その件も踏まえての施設になっているのか。
	⑯	現在地等の河岸侵食はわずかであるので、浸水が深い候補地より安全ではないのか。建設費も安くなるのではないのか。

	⑰	然別地区に住んでいるが、広い帯広市の中で、なぜ、中島地区、川の近くに建設するのか。浸水の危険度が高く、洪水の際にごみが畑に流れてくる恐れがある。
	⑱	洪水の際に堤防の外側の建設候補地にたまった水をどのように排水するのか。
	⑲	候補地Cに建てる場合の事業費に盛土などが含まれていないのではないか。負担が増えるのではないのか。
2. パークゴルフ場での建設について	①	候補地 A (パークゴルフ場) は、中間処理施設の建替え用地となっていたはずだ。帯広市から提案がなかったとの説明だが、いつ 19 市町村が協議して決めたのか。
	②	候補地 A (パークゴルフ場) はもともと建替え用地だったはず。広い面積はそもそも必要なのか。
	③	候補地 A (パークゴルフ場) と既存施設では河岸浸食が 20%程度で、合わせると 5ha あるので建設候補地に適しているのではないのか。
	④	候補地 A (パークゴルフ場) は、中間処理施設の建替え用地となっていたはずだ。候補地 A だけの面積で足りなければ現施設の敷地もあわせれば建替えが出来るはずだ。候補地 A や既存施設の方が、浸水深が低いので候補地として適している。
	⑤	20 年ほど前に視察へ行ったときに、隣の候補地 A (パークゴルフ場) が建替え予定地と説明された。家屋倒壊等氾濫想定区域も一部だけで候補地 A に建替えれば 10 億円程度削減できるのではないのか。
	⑥	候補地 A (パークゴルフ場) は、中間処理施設の建替え用地となっていたと思う。候補地 A と現施設の敷地もあわせて建替えができればもっと安く建設できると思う。
3. その他	①	帯広市に立地する予定になっているが、これまで基本構想や候補地の立地について説明してきた中で、帯広市民の反応はどうだったか。
	②	建設候補地については、優良農地だと思われるが、農地以外の候補地や地区はなかったのか。
	③	絶対に水が浸からないところを選ぶべきで、中島地区以外で例えば音更に協力してもらおうなどを検討した方が良いのではないかと考える。
	④	くりりんセンターからの煙については帯広の街の中にも流れていると思う。
	⑤	現在の西士狩地区の住民のことも考えてほしい。焼却施設は迷惑施設であり、浸水するから候補地に移転できないというのは地域の住民としては納得できない。浸水するなら 5m でも 10m でも嵩上げすれば良い。地域住民が納得するところでなければ建設できないものであり、ごみの焼却施設は生活する上で必要な施設であることから、290 億円かかろうが建設しなければいけない。
	⑥	中島地区は川が集積した地域で泥が多く地盤が弱いと思う。なぜ、地盤が弱いところに建設するのか。

【第6章 環境自主基準の設定】

項目	住民からのご意見等	
1. 排ガス基準について	①	環境自主基準について、ダイオキシン類の基準は新しい施設では0.1ng以下の基準になっているが、現施設では基準が1.0ng以下で実際には0.3ng程度だと思う。新施設の整備まで6年間あり、この間は堪えないといけないが、ダイオキシン類対策についてもしっかりと取り組んでほしい。
	②	排ガスや排水について今回の基準では国の基準の半分程度にするとすると思うが、日本の排出基準は甘いと考えており、国の基準より少なくても安心できない。
	③	敷地の排ガス基準を満たすだけでなく、少し離れた近隣の数値についても定期的に計測して、報告してほしい。また、数値などについてはホームページの公表だけでなく、地域への説明会なども考えてほしい。

【第7章 事業計画】

項目	住民からのご意見等	
1. 概算事業費の積算について	①	建設費290億円に解体費や盛土など浸水対策費は含まれていないのではないかと。
	②	290億円に浸水の盛土や電気の鉄塔、解体費が含まれておらず、加算すると350億円ぐらいになる。十勝一人当たり8~10万円かかるのではないかと。
	③	290億円は高いという声も聞いているが、どのように認識しているのか。
	④	他都市では行政が提示した額の半分で建設した事例も伺っている。建設費はもっと安く出来ないかと。
	⑤	新中間処理施設は290億円ということだが、何年使用するのか。
	⑥	社会資本投資する場合には、回収年数や負担額についても試算が必要と考えるが、解体する費用についても加える必要がある。30年間使用する施設であれば、回収年数も30年間で計算するべきではないかと。
2. 防災計画等について	①	帯広市総合体育館については防災計画を策定したと思うが、新施設については防災計画を策定しないのか。
	②	新中間処理施設の防災計画はないのか。帯広市の防災担当とは協議しているのか。
	③	災害廃棄物も処理することになっていると思うが、帯広市が策定した災害廃棄物計画や他の町村の災害廃棄物関係の計画等との整合性はとれているのか。
3. 構成市町村の負担について	①	各市町村の分担金がどのくらいになるのか明らかにしてほしい。
	②	芽室町議会の常任委員会において、建設費に係る分担金については基金の積立もあるので、現在の分担金と変わらないと発言していたが事実か確認したい。
4. 住民負担について	①	遠隔地のごみの運搬費用については誰が負担するのか。遠隔地の住民の負担は大きくならないのか。
	②	帯広市のごみ袋の料金は高いと思うが、もっと安くならないのか検討したのか。

5. 解体について	①	解体費はいくらになるのか。
6. 跡地利用について	①	現施設の跡地利用はどうするのか。
7. 交付金について	①	循環型社会形成推進交付金は帯広市が申請するのか、組合が申請するのか。組合が申請するのであればごみの減量化、エネルギー回収などの目標が必要ではないのか。
8. 雇用について	①	再資源化施設において障がい者などを雇用する考えはないのか。
9. その他	①	移転に関して反対ではないが、中島地区の住民として市街化調整区域に係る帯広市との協議、調整が終わっていないので、それまでは計画は留保してほしい。
	②	基本計画については住民説明会を行うのか。
	③	19 市町村のごみ処理になることで運搬による CO2 の排出は増えるのではないのか。
	④	ごみを搬入する時に一般の人が結構道路に落としていき、回収されることもない。こんな状態では賛成はできない。

【第 8 章 事業方式】

項目	住民からのご意見等	
1. 公民連携 (PPP) 方式について	①	事業方式を DBO 方式または BTO 方式としているが、いつどのように決めるのか。
	②	SPC (特別目的会社) に運転維持管理を委託するのは一般的なのか。

【その他】

項目	住民からのご意見等	
1. 住民説明会について	①	コロナ感染が広がっている中、なぜ住民説明会を延期しなかったのか。この場で感染したらどうするのか。
	②	12 月は忙しい時期でもあり、コロナも蔓延している中、なぜこの時期に説明会をやるのか。
	③	参加は 1 人 1 会場とするのは、なぜか。
	④	コロナ対策として、屋外でやることは検討しないのか。
	⑤	もっと多く参加できるような周知や方法はなかったのか。
2. パブリックコメントについて	①	パブリックコメントの期間は 1 月 6 日までとなっている。年末年始をはさむことになるし、資料を見て考える時間を考えると短いので、期間を延ばしてほしい。
	②	パブリックコメントの期間は 12 月 7 日から 1 月 6 日までとなっているが、住民説明会が終わるのは 12 月 20 日なので、そこから 1 か月間にすべきである。
3. 最終処分場について	①	美加登の最終処分場について、様々な物が埋め立てられ、有害物質が漏れていないかを懸念しており、排水検査はどのようになっているのか。
	②	新中間処理施設の供用開始時には、19 市町村に増えるが、最終処分場については、どのくらい使用できるのか。

4. 説明動画について	①	説明動画をホームページで公開しているのであれば、QRコードで読み取れるようにしてほしい。
5. その他	①	パークゴルフ場を利用しているが1万人から2万人というが、そんなにいないのでは。何人が利用しているのか。
	②	19市町村としての基本構想となっているが、現在、未加入の町村はどこか。
	③	北大の教授の名前と所属等を教えてほしい。北大の教授の説明会を実施してほしい。大学から学識経験者に来てもらって防災について学ぶ機会を作してほしい。
	④	2017年から新中間処理施設整備検討会議を19市町村の担当課長が集まり、新施設についての検討を行っているが、多くの担当者が異動している。住民は検討会議に参加や傍聴はできないのか。
	⑤	事業に関してコンサルに委託しているのであればコンサルの会社名を教えてほしい。